



株主の皆様へ



代表取締役社長 西尾 啓治

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止と社会経済活動の両立に取り組む中で、一部に持ち直しの動きもみられております。

食品業界においては、未だ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、小売業では外出自粛に伴う巣ごもり消費を取り込むことで拡大した売上の伸びも緩やかとなり、また飲食業では、行政をはじめ様々な対策が講じられているものの回復には遠く、総じて持ち直しに向けた動きは鈍い状況にあります。

このような経営環境下、当社グループは新たに策定した「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野(乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野)における収益基盤の確立」に向けた取組みを進めました。この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大に伴うプロダクトミックスのさらなる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、種苗事業における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源やバリューチェーンの活用拡大によるグループ総合力の強化等に努めました。

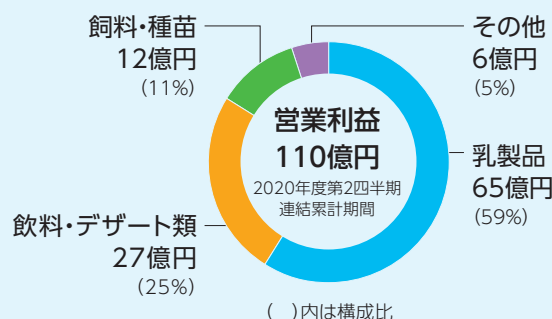
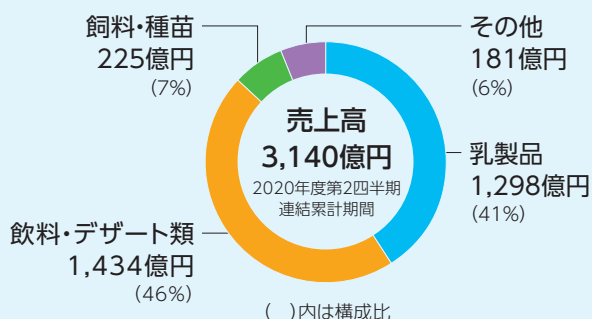
また、新型コロナウイルス感染症の従業員への感染防止に取り組み、お客様へ安全で安心していただける商品の安定供給に努めました。そのほか、学校給食の休止や外食需要の減退に伴い牛乳などの需要が大幅に減少する中で、生乳廃棄の回避に向け需給調整機能を果たすべく生乳処理に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は3,140億円(前年同期比0.8%増)、営業利益は110億円(前年同期比4.2%増)、経常利益は119億円(前年同期比2.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は71億円(前年同期比6.6%減)となりました。

当社グループは2020年度より、「グループ長期ビジョン 2026」の第2ステージ「グループ中期経営計画 2022」をスタートしております。下期においても、「グループ収益基盤の確立」と「生産体制進化の本格始動」を進め、2021年3月期の経営目標達成を目指してまいります。

併せて、SDGsを含めCSR重要課題として掲げた社会課題の解決に取り組むことにより、「グループ長期ビジョン 2026」に掲げた「ミルク未来創造企業」の実現を目指してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



連結損益計算書の概要

(単位：億円、億円未満切り捨て)

	前第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年9月30日)	増減額	通期予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)
売上高	3,116	3,140	24	6,200
営業利益	106	110	4	190
経常利益	117	119	2	205
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	71	△5	130

NEW

『毎日骨太 2個で1日分のカルシウム
チーズケーキ ヨーグルト味』
『プルーンFe 2個で1日分の鉄分
チーズケーキ』

「毎日骨太」「プルーンFe」シリーズの「カルシウム」や「鉄分」といった栄養素を、デザートチーズの「おいしさ」にプラスしました。



プルーンFe
2個で1日分の鉄分
チーズケーキ
108g



毎日骨太
2個で1日分のカルシウム
チーズケーキ ヨーグルト味
108g

RENEWAL

『ビーンスタークマム 毎日Ca(カルシウム)+鉄』

1日2粒を目安にかんでお召し上がりいただける、いちごヨーグルト風味のチュアブルタイプのタブレットです。今回のリニューアルでは、主にビタミンDを増量(2.5 μ gから6.0 μ g)しました。



ビーンスタークマム
毎日Ca(カルシウム)+鉄
40g(40粒)

ESGTピックス

Environment: 環境

CSR重要課題(マテリアリティ)にKPI(数値目標)を追加しました。

環境に配慮した包装容器を開発・使用し、2030年度までに石油由来のプラスチック使用量を2018年度比25%削減することを新たに目標に加えました。

これまでの取組みの例としては、「ナチュレ 恵 megumi」輸送用クレートを、運用上影響のない強度を保ちつつ軽量化し、約14%のプラスチック使用量の削減を実現しました。この取組みにより2020日本パッケージングコンテストの「輸送包装部門賞」を受賞しました。



↓
15mm

旧クレート 新クレート 旧クレート 新クレート

NEW

『PROTEIN10 CAFE LATTE』

『PROTEIN10 BANANA & MILK』

カラダづくり役に立つミルクたんぱく質を10g配合し、味にもこだわった乳飲料です。



PROTEIN10
BANANA & MILK
200g

PROTEIN10
CAFE LATTE
200g

NEW

『ガセリ菌SP株 カプセル』

内臓脂肪が気になる方、ヨーグルトが苦手な方、外出先でも手軽に摂りたい方におすすめのサプリメントです。雪印メグミルクダイレクト オンラインショップ(<https://www.shop-yukimeg.jp>)限定で販売しています。



ガセリ菌SP株 カプセル
90粒(30日分)

機能性表示食品(届出番号 E584)

【届出表示】

本品にはガセリ菌SP株(*Lactobacillus gasseri* SBT2055)が含まれます。ガセリ菌SP株には、食事とともに摂取することで、肥満気味の方の内臓脂肪を減らす機能があることが報告されています。

【機能性関与成分】ガセリ菌SP株(*Lactobacillus gasseri* SBT2055)

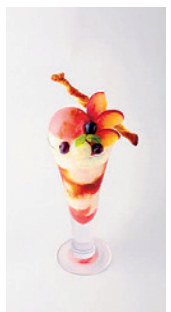
- ・本品は、特定保健用食品ではありません。
- ・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- ・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

Social: 社会

雪印パーラー「北海道応援」の特別企画

北海道庁と連携し、生産者応援のため「パフェで北海道応援」キャンペーンを実施しました。第1弾(9月~10月)の「いしかりフェア」では、石狩管内産のフルーツなどを使ったパフェを販売しました。

北海道産のプラム・ブルーベリー・ミントを使った
「プラムと桃ミルクのパフェ」



Governance: ガバナンス

取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任をさらに強化し、コーポレート・ガバナンス体制を一層充実させることを目的として、取締役会の任意の諮問機関である指名諮問委員会および報酬諮問委員会を設置しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて

感染予防を徹底しながら工場の稼動を維持

工場では感染拡大に伴う緊急事態宣言下であっても、食のインフラを維持するため、様々な対策(常時マスクの着用、共用部分の消毒、オフィスや食堂での換気とソーシャルディスタンスの確保、工場見学の中止など)を行ない、通常勤務体制を維持しながら稼動を続けました。また緊急事態宣言下では多くの学校が休校になり、学校給食用の牛乳の需要が失われましたが、乳製品を増産することで生乳廃棄を回避することができました。



手洗いの徹底は普段通り



入場時検温の様子



食堂もソーシャルディスタンスを確保



乳製品工場に生乳を運ぶタンクローリー

プロモーション・キャンペーン

STAY HOME 応援企画

少しでも自宅での時間を楽しく過ごせるように、ホームページ内にある様々なコンテンツの中から選りすぐったものを「STAY HOME 応援企画」ページにまとめました。また、あわせて公式Twitter・Instagramで乳製品セットが当たるSNSキャンペーンを実施しました。



谷本先生監修 運動+乳製品で体作り応援プログラム

数多くのTV番組に出演され、筋トレで話題の近畿大学谷本道哉先生に監修いただき、雪印メグミルクのオリジナル筋トレ動画を制作しました。



第11回定時株主総会を東京本社で開催

2020年6月24日に開催した株主総会では、感染症拡大防止のため、会場を札幌から東京に変更し、株主様の安全を第一に考え、入場いただく株主様の数を制限しました。なお、株主の皆様へ審議いただいた5件の議案は、全て承認可決されました。ありがとうございました。



ソーシャルディスタンスを確保



透明アクリルボードを設置し、マスク着用で登壇

※株主総会の様子は、雪印メグミルクホームページIRサイトの「株式・株価情報」にてご覧いただけます。

上記のほか、様々な取組みを行ないました

子ども食堂や高齢者支援施設、フードバンク等に商品を提供しました。

- 日本経済団体連合会を通じ、子ども食堂や病気の子どもがいる家庭を支援する団体に水分補給飲料「ビーンスターク ポカリスエット」(500ml)約5万2,000本提供
- 東京都が管轄する新型コロナウイルス感染症軽症者の宿泊療養施設へ水分補給飲料「ビーンスターク ポカリスエット」(500ml)提供
- 高齢者施設686カ所に大人のための粉ミルク「プラチナミルク」(300g)約8,000個提供(雪印ビーンスターク)
- フードバンクを通じ、生活困窮家庭や福祉施設、母子家庭を応援している団体に大人のための粉ミルク「プラチナミルク」、業務用の牛乳、業務用のチーズ、ベビーフード(おかゆ)、口中清涼菓子「ハキラ」提供(雪印ビーンスターク、雪印メグミルク)
- 日本赤十字社に「N95 医療用マスク」2,000枚、防護服・ゴーグル150セット提供

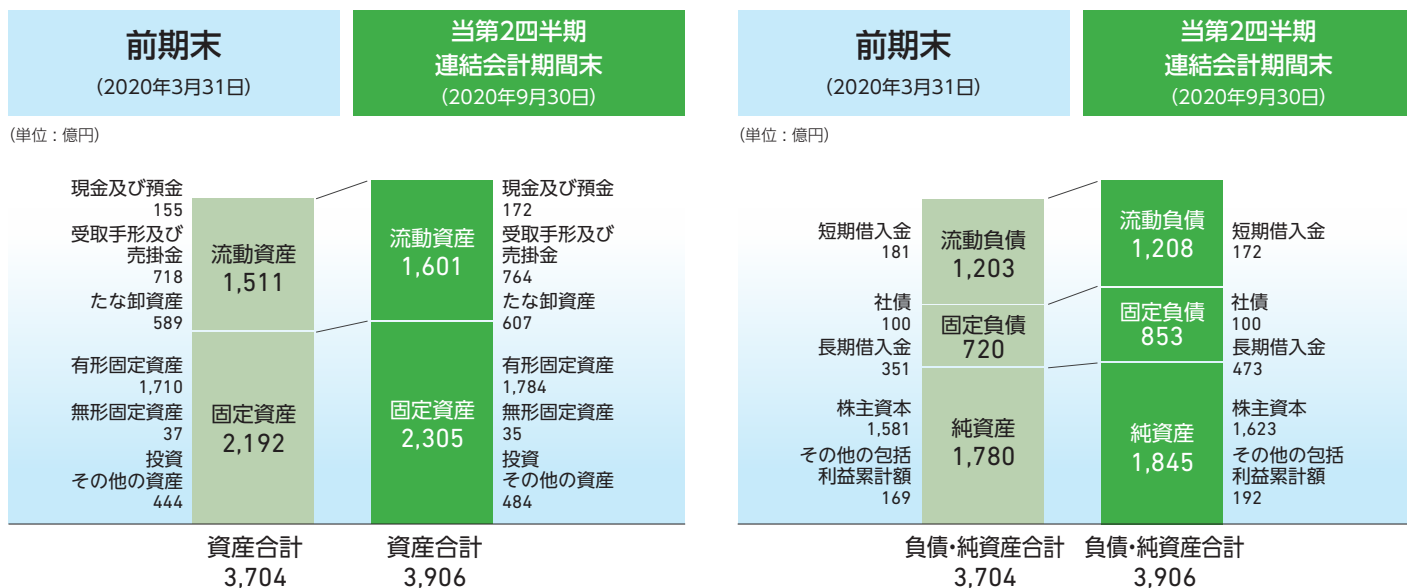
在宅勤務、オンライン業務などを取り入れた働き方改革を推進しました。



オンライン業務の様子

財務状況

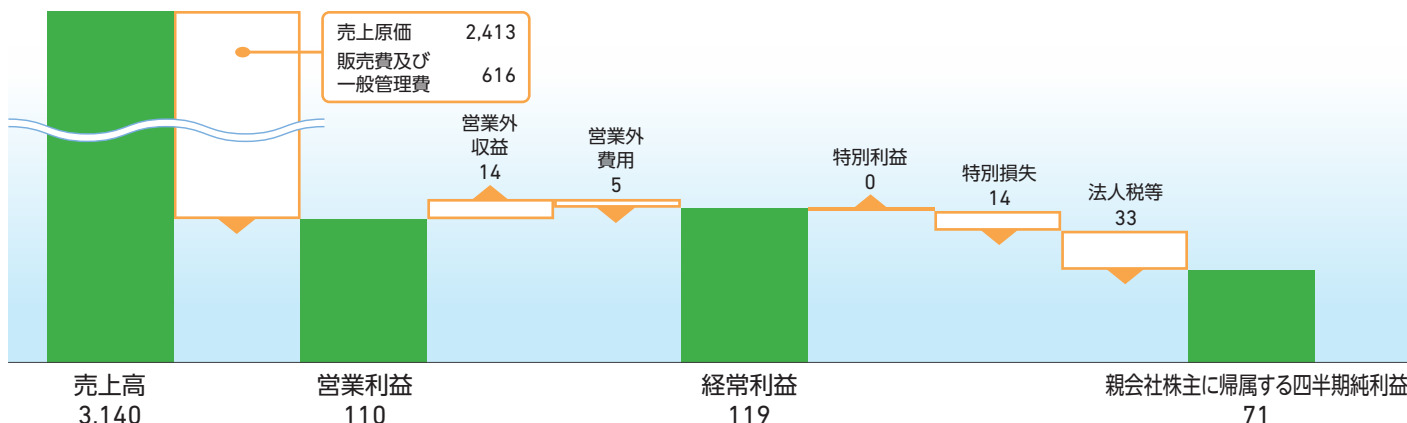
連結貸借対照表の概要



連結損益計算書の概要

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

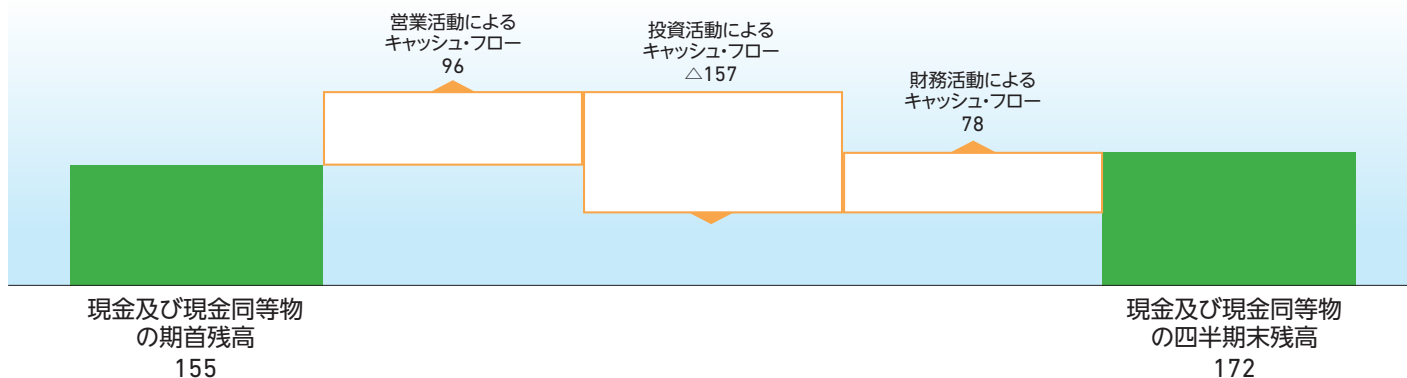
(単位：億円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位：億円)



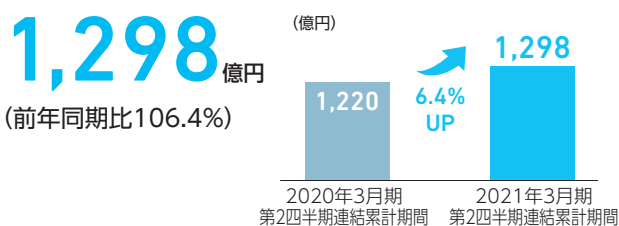
セグメント別業績の概況

乳製品 バター、油脂、チーズ ニュートリション事業(粉乳、機能性食品等) ほか

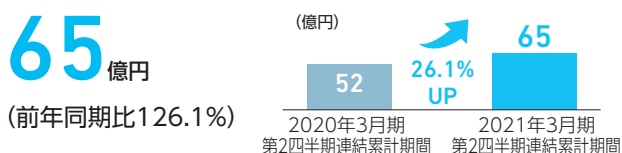


売上高構成比 **41%**

売上高



営業利益



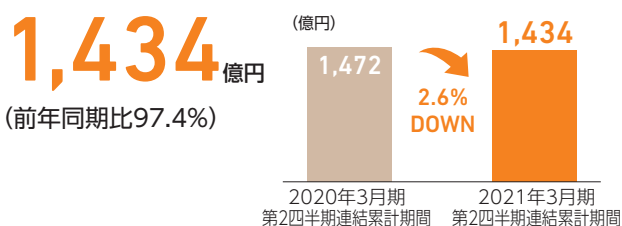
売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により内食需要は高まる一方、外食需要は落ち込むなど、販売チャネルごとに影響が生じています。このような中、バターは安定供給に引き続き努めたことから堅調に推移しました。油脂は家庭用市場がこれまでの縮小傾向から拡大に転じたこと、新しい食べ方提案などのプロモーション活動を展開した効果などから増収となりました。チーズはテレビCMなどのプロモーション活動の効果や、内食需要の高まりにより家庭用市場が伸長したことなどから増収となりました。機能性食品は特定保健用食品の「毎日骨ケア MBP®」がマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。営業利益は、新型コロナウイルス感染症による外食需要の減退があったものの、家庭用商品で販売物量の増加、固定経費の減少などから増益となりました。

飲料・デザート類 牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・清涼飲料、デザート ほか



売上高構成比 **46%**

売上高



営業利益



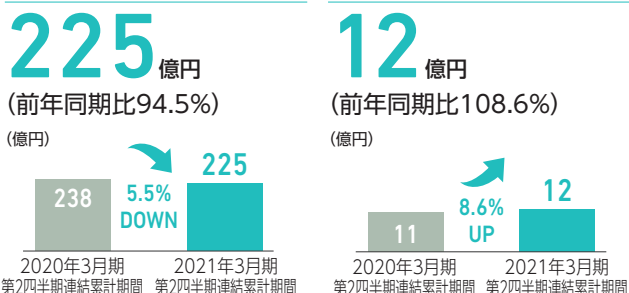
売上高は、飲料は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた休校措置に伴う学校給食の休止や、外出自粛などを背景とした消費動向の変化の影響を受け減収となりました。

ヨーグルトにおいても消費動向の変化の影響を受け、プレーンヨーグルトなどの商品は堅調に推移したものの、機能訴求型商品の「ガセリ菌SP株」や「乳酸菌ヘルバ」ヨーグルトはプロモーション活動を展開しましたが減収となりました。デザートは新商品の発売など、商品力の強化に取り組んだこと、集ごもり消費の拡大に伴い市場が伸長したことなどから好調に推移しました。これらの結果、当セグメント全体では減収となりました。営業利益は、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化の影響を受け販売物量が減少したこと、オペレーションコストが増加したことなどから減益となりました。

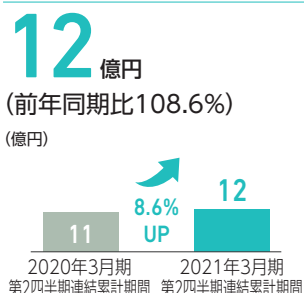
飼料・種苗 飼料、種子(牧草・飼料作物・野菜)、 環境緑化 ほか

売上高構成比 **7%**

売上高



営業利益

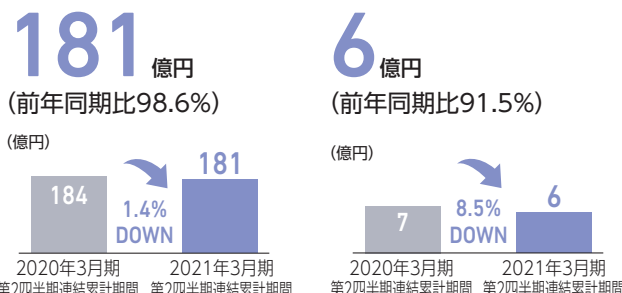


売上高は、牧草・飼料作物種子および飼料の販売物量減少などにより当セグメント全体で減収となりました。一方で、営業利益は、固定経費の減少などにより増益となりました。

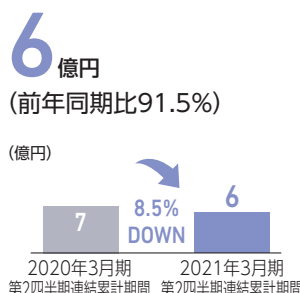
その他 共同配送センター事業、不動産賃貸事業 ほか

売上高構成比 **6%**

売上高



営業利益



※金額は億円未満を切り捨てて記載しています。

会社概要

商号 雪印メグミルク株式会社
 事業内容 牛乳、乳製品および食品の製造・販売等
 本店所在地 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
 本社所在地 東京都新宿区四谷本塩町5番1号
 設立年月日 2009年10月1日
 資本金 200億円
 決算期 3月31日
 従業員数 5,776名(連結)

経営体制

代表取締役社長 西尾 啓 治
 代表取締役副社長 西馬場 茂
 代表取締役副社長 本井 秀 樹
 取締役常務執行役員 板橋 登志雄
 取締役常務執行役員 井上 剛彦
 取締役(社外) 阿南 久
 取締役監査等委員 幸坂 真也
 取締役監査等委員(社外) 西川 郁生
 取締役監査等委員(社外) 服部 明人
 常務執行役員 小坂橋 正人
 常務執行役員 末安 亮一
 常務執行役員 川崎 功博
 常務執行役員 大貝 浩平
 常務執行役員 渡辺 滋
 常務執行役員 中島 隆男
 常務執行役員 戸邊 誠司
 常務執行役員 稲葉 聡
 常務執行役員 佐藤 雅俊
 常務執行役員 倉持 裕司
 常務執行役員 中村 俊宏
 執行役員 柴田 貴宏
 執行役員 小林 敏也

株式の状況

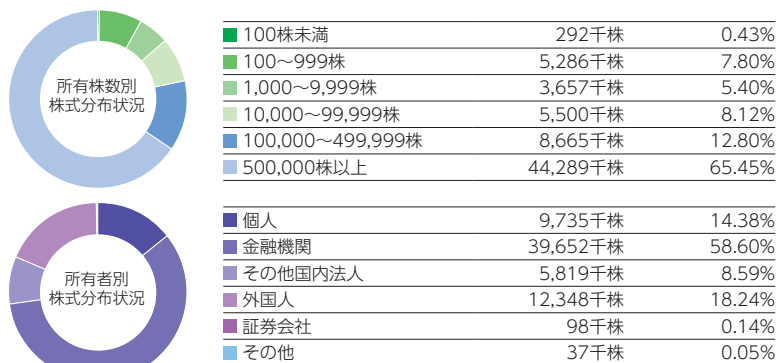
発行可能株式総数 280,000,000株
 発行済株式の総数 70,751,855株
 株主数 43,091名

大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
全国農業協同組合連合会	9,237	13.64
農林中央金庫	6,728	9.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,928	5.80
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・伊藤忠商事株式会社退職給付信託口)	3,703	5.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,339	4.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,523	2.25
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,303	1.92
雪印メグミルク従業員持株会	1,167	1.72
株式会社三菱UFJ銀行	1,083	1.60
ホクレン農業協同組合連合会	1,074	1.58

(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式3,059,710株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



(注1) 株式数は、千株未満を切り捨て表示しています。
 (注2) 当社は、自己株式3,059,710株を保有しておりますが、上記からは控除して計算しております。

株主様アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行なっていきたいと考えています。ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートサイト(画面)への接続方法 インターネットの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば

検索



<https://kabuhiro.jp>
 アンケートナンバー 2270ms1109



ご回答方法 アンケート実施期間: 2021年1月31日まで

アンケートサイト(<https://kabuhiro.jp>)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバー(2270ms1109)を入力して回答画面にお進みください。



このアンケートは、集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。アンケートシステムに関するお問い合わせは株式会社アイ・アール ジャパン 株主ひろば事務局まで(E-mail: kabuhiro@irjapan.co.jp)



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。